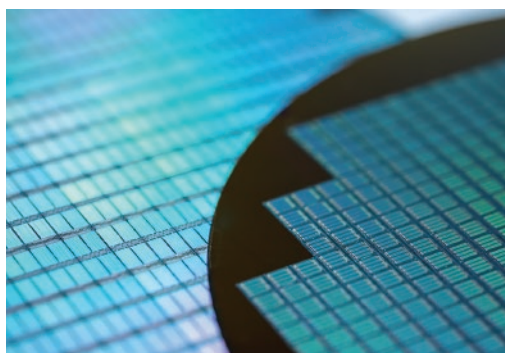


# DNP Report 株主通信

(証券コード:7912)

Vol.119



## INDEX

- TOP MESSAGE 株主の皆様へ
- [特集]「未来のあたりまえをつくる。」～半導体関連～
- Pickup News
- 2025年3月期 第1四半期決算のご報告

**DNP**



## マテリアリティ(重要課題)を 特定し、より良い未来づくりを 加速させます。

代表取締役社長 <sup>よしなり</sup> 北島 義斉

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

私たちDNPIは、「人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する。」という企業理念に基づき、持続可能なより良い社会と、より心豊かな暮らしの実現に努めています。そして社会課題を解決するとともに、人々の期待に応える新しい価値を創出し、その価値を人々の身近に常に存在する「あたりまえ」のものにしていくという志を「未来のあたりまえをつくる。」というブランドステートメントに込めています。

今年度は、中期経営計画(2023-2025年度)の2年目となります。初年度の2024年3月期は営業利益が計画していた670億円を大きく上回る754億円となり、16年ぶりに700億円を超えることができました。また純利益は、過去最高の1,109億円を達成して、ROEは9.8%となりました。この勢いをさらに加速させるため、今年度は営業利益目標を当初の750億円から800億円に引き上げました。

中長期の目標達成に向けては、注力事業領域の「新規事業」「成長牽引事業」はもちろん、「基盤事業」「再構築事業」も含めた全ての領域に経営資源を最適に配分

し、より強靱な事業ポートフォリオを構築していきます。また、さまざまな変動要因に柔軟かつ機動的に対応するだけでなく、変化を先取りして自ら変革を起こすことで、リスクをビジネスチャンスに転換します。DNPIはこうした活動を通じて、収益性や資本効率を向上させるとともに、事業価値・株主価値を創出し続けていきます。

2024年3月には、DNPIが「より良い未来」としてめざす「4つの社会」の実現に向けて、私たちが何をすべきか、どのような価値をつくり出すのかを具体化し、DNPIが社会とともに成長し続けるために重要なこととして「マテリアリティ(重要課題)」を特定しました。

「4つの社会」は単独で成り立つものではなく、相互に関連し合っています。これまでもDNPIは、こうした社会の実現に貢献する「あたりまえ」の価値を提供してきました。今後はさらに、マテリアリティに基づく事業活動として、DNPI独自の「P&I(印刷と情報)」の強みを掛け合わせて、新しい価値の創出を加速させていきます。

その具体的な事例として、今回の株主通信「DNP Report」では、成長牽引事業の一つである「半導体関連」の取り組みを紹介します。4-5ページの「特集」をご覧ください。

2025年3月期第1四半期(2024年4-6月)については、「スマートコミュニケーション」「ライフ&ヘルスケア」「エレクトロニクス」の三つの部門(セグメント)で、事業の拡大に取り組みました。世界トップシェアのディスプレイ用光学フィルムや有機ELディスプレイ製造用メタルマスク等の「デジタルインターフェース関連」を中心とした「成長牽引事業」の拡大や、紙の印刷物やパッケージ関連などの「再構築事業」の収益体質改善などが業績に寄与しました。

その結果、当期の連結業績は、売上高が前年同期比3.3%増の3,566億円、営業利益が38.9%増の184億円、経常利益が32.1%増の256億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券の売却にともなう特別利益の計上もあり、9.0%増の632億円となりました。

また、株主や投資家の皆様にとって、より投資しやす

い環境を整えるとともに、投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図ることを目的に、2024年9月30日を基準日、同年10月1日を効力発生日として、基準日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式を、1株につき2株の割合をもって株式分割することを発表しました。

私たちは、国内外に広がるグループが一体となり、「オールDNP」の相乗効果を発揮して変革に挑戦し続けていきます。印刷プロセスに立脚した他にはない「P&I」の強みを活かし、多様なパートナーとのコラボレーションをさらに深めて、「より良い未来」の実現に努めてまいります。

今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

### DNPがめざす「より良い未来」とマテリアリティに基づく事業活動

	「より良い未来」としてめざす「4つの社会」	安全・安心かつ健康に心豊かに暮らせる社会	快適にコミュニケーションができる社会	人が互いに尊重し合う社会	経済成長と地球環境が両立する社会
	<b>マテリアリティ(重要課題)</b>	自ら変化を生み出し、変化に柔軟に対応することで、環境・社会・経済の持続可能性を高めています。	リアルとデジタルをつなぐことで、得られる体験価値の質を高めるとともに、人々の活動の機会を拡げていきます。	相互に理解を深め、認め合うことで、誰もがいきいきと活躍できる場をつくっていきます。	環境保全・環境負荷の低減に取り組むことで、ネイチャーポジティブなバリューチェーンを実現していきます。
価値の創出	スマートコミュニケーション部門	コンテンツ・XRコミュニケーション関連			
	ライフ&ヘルスケア部門	メディカル・ヘルスケア関連	モビリティ・産業用高機能材関連		
	エレクトロニクス部門	デジタルインターフェース関連			P4-5の特集参照 半導体関連
経営基盤の強化	人的資本の強化	社員のキャリア自律支援と組織力の強化 / 人材ポートフォリオに基づく採用・人材配置・リスキリング			
	知的資本の強化	社員の幸せを高める健康経営	多様な個を活かすD&I推進		
	環境への取り組み	新規事業創出と強み技術の強化 / 強み技術のグローバル展開 / 基盤技術の強化と風土改革			DX基盤の高度化
		脱炭素・循環型・自然共生社会の構築			
持続的な成長を支えるリスクマネジメントの徹底 テーマ：公正な事業慣行、人権・労働、環境、責任ある調達、製品の安全性・品質、情報セキュリティ、企業市民					

「未来のあたりまえをつくる。」

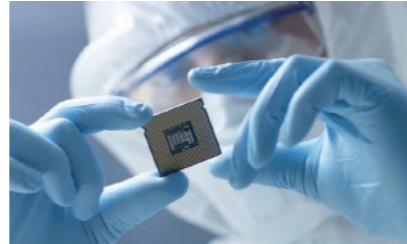
～半導体関連～

[成長牽引事業][エレクトロニクス部門]

先進部材で産業と暮らしの未来を支える

■独自技術を掛け合わせ、“浪漫”あふれる未来をつくりまします。

DNPは、独自の微細加工技術などを応用・発展させて、半導体回路パターンの形成や電子部品の実装などで、多様な価値を提供しています。エレクトロニクス部門に加え、モビリティやエネルギー、ライフサイエンスからコミュニケーション関連まで、さまざまな産業や暮らしに不可欠な半導体の製造を支え続けていきます。



■半導体製造プロセスとDNPの半導体関連製品・サービス

回路パターンの描画用原版「フォトマスク」、半導体チップを固定し外部と接続する「リードフレーム」、次世代のパターン転写技術「ナノインプリントリソグラフィ」のテンプレート、先端実装部品「TGV(Through Glass Via)ガラスコア」など、DNPは半導体のプロセス全体で多様な製品・サービスを展開しています。

企業広告シリーズ「DNPの一面!」

2024年7月16日開始

「半導体」篇の放送を開始

DNPは2023年11月から、社員一人ひとりがつくり出す価値の「一面」を紹介する広告シリーズを展開しています。DNPならではの強みと社外のパートナーの強みを掛け合わせて価値を生み出し、それを「未来のあたりまえ」にしていく志を持って取り組む社員に焦点を当てています。フリーライター役の俳優・濱田岳さんが社員の想いを取材して、新聞の「一面記事」のように表現。「メディカル・ヘルスケア」「XRコミュニケーション」に続き、国内外で注目される「半導体」篇を新たに公開し、テレビCMや交通広告、Webメディア等に展開中です。



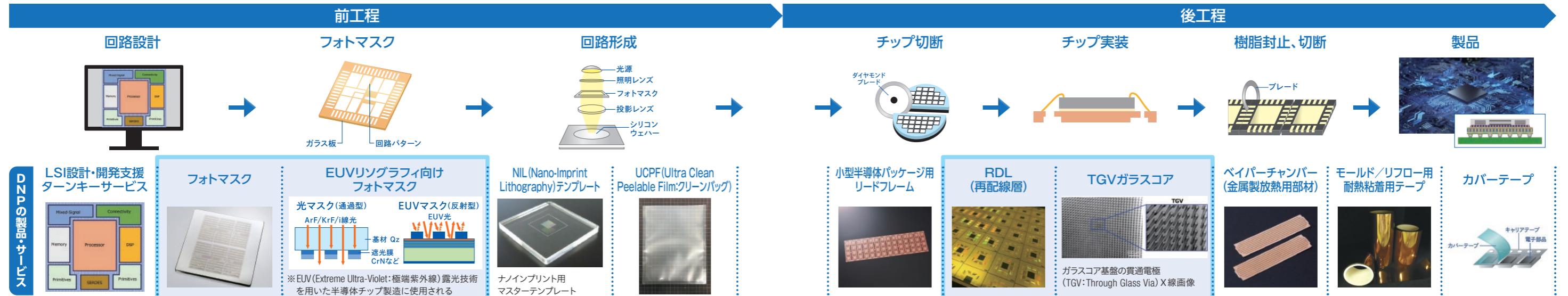
◎最新の「DNPの一面!」はこちら

URL <https://www.dnp.co.jp/brand/>



◎CM「半導体」篇

URL <https://www.youtube.com/c/DNPOfficial>

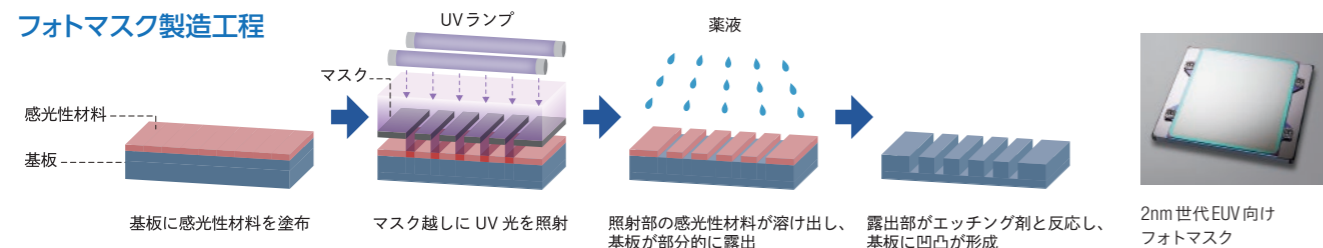


フォトマスク

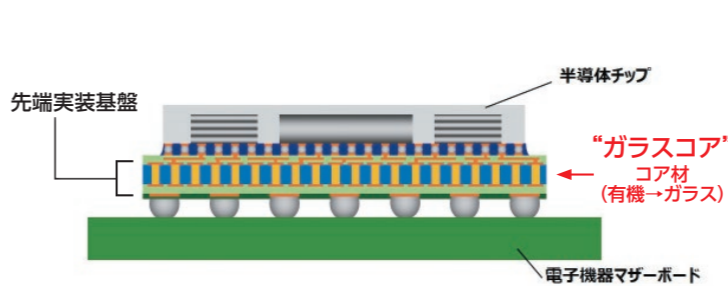
半導体チップをつくる「前工程」に必要なフォトマスクは、光を使って基板上に微細な回路パターンを転写する、写真のネガのような役割のガラス板です。DNPは印刷用の版(はんこ)をつくる微細加工技術(製版・パターンング等)を活かし、多様な基材にパターンを精密に形成して、メーカーニーズに合致した多様なフォトマスクを開発・提供しています。1959年に成功したトランジスタ用蒸

着マスクの開発に始まり、現在はナノメートル(10億分の1m)レベルのパターンを実現。EUV(Extreme Ultra-Violet:極端紫外線)用マスクの開発も加速させるなど、エレクトロニクス製品の進化に貢献しています。国内外でフォトマスク等の生産能力を拡大し、社外の多くのパートナーとのアライアンスも強化して、半導体サプライチェーン全体にさらなる価値を提供していきます。

フォトマスク製造工程



半導体用ガラスコア (ICチップ実装用基板)



- 市場環境
- AIの進展、半導体チップの拡大を背景に先端デバイス向けの実装基板は大型化が進む
  - 基板の大型化にともない、反りや平坦性の課題を解決するガラスコアの需要が増加
  - 特にサーバー用のCPU/GPU向け先端実装基板市場をDNPの事業ターゲットに

半導体プロセスの「後工程」のチップ実装で用いる基板がガラスコアです。太い線幅の半導体の実装に使うリードフレームを製造してきたDNPは、培った技術・ノウハウを活かして、細い線幅の最先端品用のガラスコアの開発を進めています。このコアには従来有機材が使われてきましたが、回路パターンの微細化とチップの大型化に合わせて、より平坦性が高く、反りの少ないコアを実現するガラスが注目されています。その際、ガラスの表と裏を接続する微細で高密度な貫通電極の形成が必要となります。DNPは、フォトマスクやMEMS(微小電子機械システム)で培った微細加工技術と、液晶ディスプレイ用カラーフィルターで培った薄い大型ガラスをハンドリングする技術を掛け合わせてガラスコアの開発を実現。新たな成長牽引事業として拡大を図っていきます。

# Pickup News

2024年6月12日発表

## 黒崎工場(福岡県)で有機ELディスプレイ製造用メタルマスク生産ラインの稼働を開始 生産効率が高い第8世代のガラス基板に対応

DNPは、福岡県北九州市の黒崎工場に新設したメタルマスク生産ラインの稼働を2024年5月に開始しました。この新ラインでは、各種IT機器で導入が進む有機EL(OLED)ディスプレイの需要拡大に対し、生産効率を大幅に高める第8世代(G8)サイズのガラス基板に対応した大型メタルマスクを生産します。本製造ラインの本格稼働によって、メタルマスクの生産能力を従来の2倍に高めていきます。



黒崎工場(福岡県)の外観  
メタルマスク第8世代(左)、第6世代(中央・右)

**【市場動向など】** スマートフォンやタブレット端末、ノートパソコン等でOLEDディスプレイの導入が広がっています。特にディスプレイの大型化ニーズが高まるなか、OLEDパネルメーカーは、現在の第6世代(G6)サイズよりも生産効率が高いG8のガラス基板での量産を推進しています。DNPはこうした大型化ニーズを先取りし、G8サイズに対応したメタルマスクの生産体制を構築。また、自然災害などの場合にサプライチェーン全体への影響が軽減できるよう、事業継続計画(BCP:Business Continuity Plan)を最適化しています。今回の新ライン稼働によって、メタルマスクの既存の生産拠点である三原工場(広島県)のバックアップを可能にして、BCPの一層の推進を図ります。

2024年7月11日開催

## 機関投資家・アナリスト向けに「DNPグループ IR-Day 2024」を開催

DNPは、事業戦略や具体的な事業活動への理解・共感を深め、中長期視点での対話につなげるため、機関投資家・アナリストの皆様に向けた「IR-Day 2024」を初めて開催しました(オンライン)。

持続的な企業価値向上に向けた経営の考え方・方針、セグメント戦略、成長率引事業・新規事業の取り組みなどについて対話を行いました。

参加された皆様からは、「事業部門の責任者が登壇し、質疑応答を含め丁寧に説明したのが好印象」「製品・サービスの基盤技術や市場環境・競争戦略・強みなどが詳細に説明され、各事業の理解を深める有意義な内容だった」などの声がありました。「次回は基盤事業・再構築事業も扱ってほしい」などの要望も、今後のIR活動に活かしていきます。

◎「IR-Day 2024」の資料や動画は、DNPのWebサイトをご覧ください。  
<https://www.dnp.co.jp/ir/library/presentation/index.html>



2024年8月30日 日本語版PDF公開

## 「DNPグループ統合報告書2024」を発行しました

DNPは、価値創造プロセスや中期経営計画等について、株主や投資家をはじめとするステークホルダーの皆様にはわかりやすくお伝えする最新の「統合報告書」を発行しました。本誌は、事業戦略・財務戦略・非財務戦略とともに、事業を通じた価値の創出や、環境・社会・ガバナンス(ESG)の取り組みなどを紹介する年次報告書です。DNPはこのほか、有価証券報告書・株主通信・環境報告書等の発行物や対話の機会を通じて説明責任を果たし、企業価値の向上につなげていきます。

◎DNPのWebサイトで日本語版PDFをダウンロードできます。  
<https://www.dnp.co.jp/ir/library/annual/index.html>

※英語版PDFおよび、日本語版の冊子も発行する予定です。



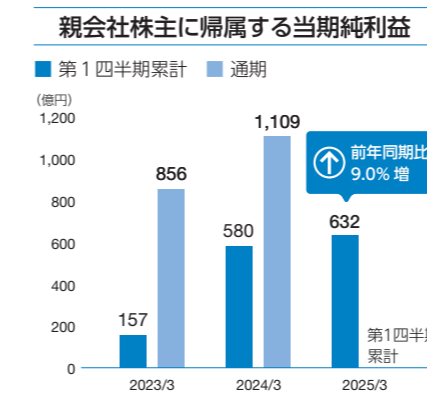
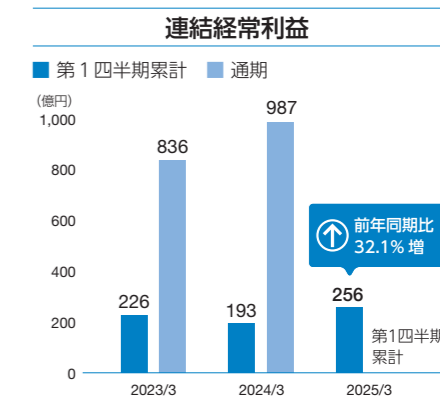
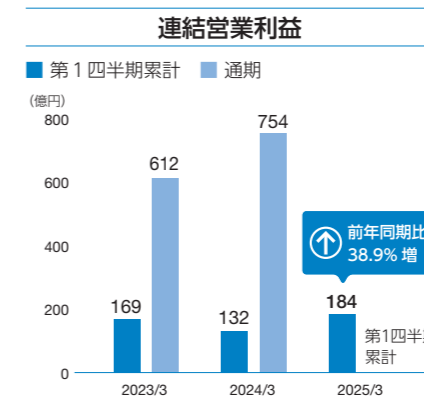
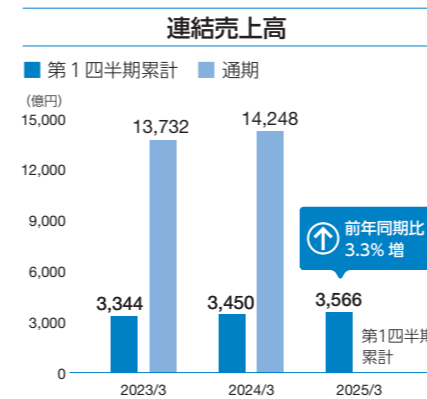
# 2025年3月期第1四半期決算のご報告 (2024年4月1日~2024年6月30日)

科目	当第1四半期	前第1四半期
売上高	3,566	3,450
営業利益	184	132
経常利益	256	193
親会社株主に帰属する 四半期純利益	632	580

科目	2025年3月期通期(対前期増減率)
売上高	14,550 (+2.1%)
営業利益	800 (+6.0%)
経常利益	1,000 (+1.3%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	900 (△18.9%)

1株当たり当期純利益191円40銭\*

\*2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割した影響を考慮しています。



科目	当第1四半期 連結会計期末	前連結会計年度末
資産の部	19,480	19,556
流動資産	8,162	7,993
固定資産	11,318	11,563
負債の部	6,989	7,189
流動負債	3,955	4,089
固定負債	3,034	3,100
純資産の部	12,491	12,366

## スマートコミュニケーション部門



写真プリント用昇華型熱転写記録材

売上高 1,746億円 前年同期比 3.0%減  
営業利益 58億円 前年同期比 18.1%増

写真プリント用部材や国内の証明写真サービス、ICカードなどが好調に推移するも、BPOが前年大型案件の反動により減少。為替のプラス効果や事業構造改革などにより、減収・増益となりました。

## ライフ&ヘルスケア部門

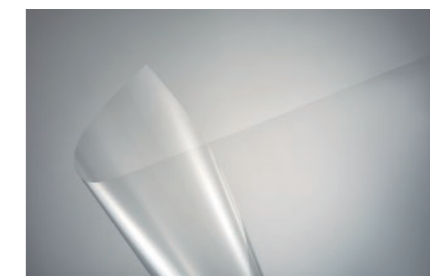


リチウムイオン電池用バッテリーパウチ

売上高 1,235億円 前年同期比 13.1%増  
営業利益 47億円 前年同期比 214.9%増

IT向けのリチウムイオン電池用バッテリーパウチや太陽電池用部材などの注力事業が増加。原材料費等の上昇影響緩和や価格転嫁が進み、包装関連事業の売上増加もあり、増収・増益となりました。

## エレクトロニクス部門



ディスプレイ用光学フィルム

売上高 589億円 前年同期比 4.7%増  
営業利益 136億円 前年同期比 9.7%増

光学フィルムは、テレビ用パネルの大型化を背景に堅調に推移。有機ELディスプレイ製造用メタルマスクは、スマートフォンへの採用拡大に伴い増加。為替のプラス効果などにより、増収・増益となりました。

# ディーエヌペンギン 「DNPenguin卓上カレンダー」プレゼント

2025年版「DNPenguin卓上カレンダー」を株主の皆様へプレゼントいたします。DNPenguinは、DNPの多様な取り組みや製品・サービスをわかりやすく紹介するオリジナルキャラクターです。

プレゼントご希望の方は、同封のハガキに、お名前、電話番号、ご住所、株主番号(同封の「送付票」右下に記載されている9桁の番号)を全てご記入いただき、同封の保護シールを貼付のうえ、ご返送ください。

※お送りするカレンダーは、お一人様1部、日本国内の発送に限らせていただきます。※株主様ご本人のお名前でお申込みください。※株主登録のないお名前でお申込みされた場合および記入項目に不備や空欄がある場合は、お届けできないことがあります。※発送は2024年12月頃を予定しています。

お申込み締切 **2024年10月31日(木)当日消印有効** ※締切日にご注意ください。

お問い合わせ 「DNPenguin卓上カレンダー」プレゼント事務局  
電話：0120-300-054(フリーダイヤル)

お問い合わせ受付期間：2024年10月7日～2025年2月3日(土・日・祝日除く10:00～17:00受付)  
※2024年12月30日～2025年1月3日は年末年始につき、お問い合わせ受付はお休みとさせていただきます。

## 〈お申込み情報の取扱いについて〉

ハガキにご記入いただきました情報は、「DNPenguin卓上カレンダー」のお届けに利用するとともに、2025年6月以降の株主総会に関するお電話でのご案内に利用させていただくことがあります。なお、この目的の実施のためにDNPのグループ会社に業務を委託する以外には、第三者へのお申込み情報の提供は行いません。DNPの「個人情報保護方針」につきましては、ウェブサイトをご覧ください。

大日本印刷株式会社個人情報保護方針 URL <https://www.dnp.co.jp/privacy/>  
大日本印刷株式会社 IR・広報本部 IR室 個人情報取扱責任者 IR・広報本部 IR室長

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。(当社のウェブサイト <a href="https://www.dnp.co.jp/ir/">https://www.dnp.co.jp/ir/</a> ) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

## 株式事務に関するご案内

### 1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 証券会社等に口座をお持ちの株主様  
株主様が口座を開設されている証券会社の本支店
- 証券会社等に口座を開設されていない株主様(特別口座)  
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)  
(お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)  
※ご転居の際には、住所変更のお手続きを、必ずお願い申し上げます。

### 2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

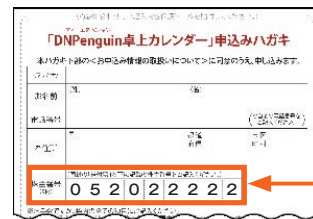
- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)  
みずほ銀行 本店および全国各支店

デザインは変更になる場合があります。ご了承ください。



縦 約14cm×横 約19cmの紙製カレンダー

### 同封のハガキ



株主番号をご記入ください



「送付票」右下の番号が「株主番号」です。

## ●株主通信「DNP Report」に関するお問い合わせ先

大日本印刷株式会社 IR・広報本部 IR室

〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 TEL：03-3266-2111(大代表)

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。  
記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。  
※記載されている会社名、製品・サービス名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。